

平成28年 第11回別海町教育委員会 会議録

- 1 開催日時 平成28年10月7日（金）午前10時00分から午前10時45分
- 2 開催場所 別海町役場 町議会第2委員会室
- 3 出席委員 (5名)

教育委員長	大塚保男
教育委員長職務代理者	木村江里
教育委員	伊勢浩子
教育委員	粥川一芳
教育長	真籠毅
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 (13名)

教育部長	中谷隆弘
指導主幹	谷口秀文
教育部次長	下地哲
学務課主幹	谷村将志
学務課主幹	松田勝広
学務課主査	小野勝彦
生涯学習課主幹	竹中利哉
中央公民館副館長	浦山佳代子
西公民館館長	新堀光行
西公民館副館長	田村康行
東公民館館長	内山宏
東公民館副館長	福原義人
図書館館長	千葉宏
- 6 議事日程 協議案第1号 平成28年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

－【開 会】－

大塚委員長

ただ今から、平成28年第11回の別海町教育委員会会議を開会いたします。本日の出席委員は5名です。別海町教育委員会会議規則第5条の定足数に達していますので、会議は成立いたします。

それでは開会にあたりまして、私から一言ご挨拶を申し上げます。

10月になって、朝・夕はめっきり寒くなり、ストーブが恋しい季節になりました。

先日行われました第38回パイロットマラソンもおかげさまで天候に恵まれまして、無事終了することができました。これも偏に、実行委員会の皆様のきめ細やかな準備とスムーズな運営に当たっていただいたおかげであり感謝を申し上げます。

さて、今は秋真っ只中にあり、芸術・文化の活動やスポーツに勤しみ、心地よい汗を楽しめる季節であります。

学校においては、子ども達の日頃の学習活動の成果を発表する学芸会や学校祭が始まります。

また、各地域においても、町民の公民館活動発表の場として文化祭が計画されています。

文化の香りが漂うこれらの発表会が、子ども達や町民にとって実り多い充実した場になることを願っています。

私たち教育委員も可能な限り学校や公民館へ出向き、子ども達や町民の頑張ってる姿を参観し応援したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

以上、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

－【前回会議録の承認】－

大塚委員長

それでは日程第2「会議録の承認」に入ります。

前回第10回の会議録について、事前に各委員さんに事務局から送付しておりますので、訂正・ご意見等がありましたら発言をお願いいたします。

いかがでしょうか。

(「なし」声あり)

大塚委員長

特にないということですので、第10回の会議録については承認することとしてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

大塚委員長

会議録について、承認することといたします。

－【報 告】－

大塚委員長

それでは、日程第3「報告」に入ります。

真籠教育長から報告事項をお願いいたします。

真籠教育長

9月2日に開催されました、第10回の教育委員会議以降から本日までの主な行事や実施事業等について報告します。

6日午前10時30分より、根室教育局指導監訪問が、上風連小学校・中学校で開催され、教育長・谷口指導主幹が同行しています。

8日・9日の両日、平成28年度道東ブロック社会教育主事等研修会が、マルチメディア館、中央公民館を会場に実施されています。

9日午前10時00分より、議会全員協議会が議場で開催され、9月補正予算等の説明が行われています。

同日午後1時00分より、平成27年度一般会計・特別会計・企業会計に係る、財政健全化・経営健全化に係る審査意見書の提出が監査委員よりありました。

11日午前9時00分より、第52回別海町駅伝競走大会兼第20回別海町女子駅伝競走大会が農村広場・故郷の森のコースで開催され、中学生男女の部、高校・一般男女の部で健脚が競われました。

13日より16日の日程で、第3回議会定例会が開催されています。一般質問は、外山議員より、教育委員会に指導参事（現職教頭）を配置した成果と平成29年度以降の配置計画について、さらには、地元中学生の別海高校への進学率を高める方策についてありました。

指導参事の配置により、学校と教育委員会との情報共有や連携が十分図られるようになったこと、さらには、学校の課題解決や教師力の向上をはじめ、子供たちの学力・体力・生活力が向上していると実感される。今後も現職教頭の指導参事の配置継続に務めると答えています。

また、別海高校への進学率を高める方策の質問については、高校の成果や魅力等を積極的にPRに務め、地域の高校として町民に応援していただけるよう、連携を図りながら地元進学率の向上に取り組むと答えています。また、寄宿舎や牛の導入について、関連した質問がありましたが、寄宿舎については、アンケートの集計を待って、寄宿舎等の確保に向けて関係機関等と協議を進める。また、牛の飼育実現は酪農王国別海町にとって大変有意義と捉え、別海高校の魅力づくりの一つとして、支援についてJA等連携し検討すると答えています。

その他、補正予算案等について、全て承認をいただいています。

14日午後4時00分より、定例教頭会議が開催されています。

翌15日午前10時30分より、根室教育局指導監訪問が、上西春別小学校・中学校で開催され、教育長・谷口指導主幹が同行しています。

同日午後4時00分より、公立幼稚園長会議が開催されています。

翌16日午後3時30分より、別海中央小学校において、家庭での正しい

生活習慣の改善やメディアコントロールに向けた「スイッチOFF22」の標語コンクールで、最優秀に輝いた6年生山崎温也君に、教育長から表彰状の授与がされています。標語は「スイッチoffで生活変えよう、未来を変えよう」です。

翌17日・18日は、別海町産業祭が天候に恵まれた中、開催されています。

20日午前10時00分より、第38回別海町パイロットマラソン大会の第2回実行委員会が開催されています。

同日午前9時30分より、根室教育局指導監訪問が野付小学校・中学校で開催され、谷口指導主幹が同行しています。

翌21日午前10時30分より、中春別小学校にて、学校力向上総合実践事業のアドバイザーの水上北海道教育大学教授の授業指導、講演等が開催されています。

23日午後1時00分より、別海高校専攻科生徒2名がニュージーランドの海外研修（2ヶ月間）に向かうため、町長・教育長を表敬訪問しています。

同日午後1時30分より、生き抜く力アッププロジェクト事業で、秋田県横手市の教育先進地を視察研修した教員による、アクティブラーニングを活用した授業公開が上風連中学校で開催されています。

翌24日には、上西春別小学校・中学校を会場に教育フェスティバルが本年も開催され、中学生全員が小学校各クラスで読み聞かせを行うなど、小中の交流実践が行われています。また、その後小学校では地元企業や消防署、酪農家等の協力による体験学習が、中学校では「魅力&未来 OF 別海」をテーマに、社会人や中学生が、それぞれの立場から別海に対する思いや希望を発表し合い、ふるさと別海の魅力の再発見や、未来に向けた希望と課題の共有を目的にパネルディスカッションを開催しています。教育長もパネラーとして参加しています。

翌25日午前9時00分より、「遊ぼっとスポーツ In 別海」が町民体育館等を会場に、町内各地区から500名以上の参加のもと、7競技種目でスポーツ交流を深めています。

同日25日から28日の日程で、教育長・教委佐藤主任・別海高校高橋校長と2教員にて、島根県の離島隠岐の島にある海士町と唯一の隠岐島前高校を合同視察しています。海士町の驚異的な復活を遂げている施策や高校の魅力化プロジェクトで全国から高校生入学している要因等について、百聞は一見にしかずですが、大変学ぶことが多く、報告書をまとめて教育委員会議や校長会等でプレゼンをしたいと考えています。別海高校の魅力化についても高校と連携をとりながら進めてまいりたい。

真籠教育長

27日には、教育局指導主事訪問が、上春別中学校で、翌28日には、別海中央中学校で教育局指導監訪問、同日及び29日には、生き抜く力アッププロジェクトの授業公開が上風連小学校と野付中学校でそれぞれ開催されています。

翌30日午前9時00分より、別海中央小学校において、月例の公開授業と学校力向上の総合実践事業アドバイザーの小松北海道教育大学教授を迎えて、授業指導や講演会が開催されています。

同日午後1時30分より、平成28年度別海高校教育振興会総会が役場会議室で開催され、平成26年度別海高校普通科間口減となった経緯と、平成29年度間口復活が決定した状況等が説明され、今後も継続して支援を続けることの確認がなされています。

翌10月1日午後5時00分より、第38回別海町パイロットマラソン大会の開会式が町民体育館で開催されています。

翌2日午前10時00分より、パイロットマラソン大会のフルマラソンがスタート午前10時45分から5kmマラソンが秋晴れの中実施されました。当日のフルマラソン出場者は、1,246名、完走者1,093名、5kmマラソン出場者は、427名となっています。

また、午後5時00分より、コミュニティセンターで交流会が、多くのランナーが参加して行われ、来年の再開を確認し合っていました。

翌3日午前11時00分より、平成29年度に向けた第1回予算編成等対策会議が、町理事者・幹部職員により実施されています。

翌4日午前10時00分より、定例校長会が開催されています。

翌5日午前8時30分より、上西春別幼稚園を会場に、根室管内公立幼稚園の研究会が開催され、教育長が出席しています。

同日午後1時30分より、第6回まちづくり構想検討委員会が役場会議室で開催されています。

また、同日午後4時00分より、中西別バレーボール少年団が全道大会出場に伴う表敬訪問が行われ、町長・教育長が対応しています。

以上雑駁ですが、報告とさせていただきます。

－【議 事】－

大塚委員長

それでは、日程第4「議事」に入ります。今日の議案は協議案1件となっております。

協議案第1号「平成28年度全国学力・学習状況調査『北海道版結果報告書』への市町村別結果の掲載について」事務局から説明願います。

学務課主幹

協議案第1号「平成28年度全国学力・学習状況調査『北海道版結果報告書』への市町村別結果の掲載について」の内容について説明いたします。

本件につきましては、平成28年8月1日付け北海道教育委員会教育長通知の平成28年度全国学力・学習状況調査に「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載についてと題した文書の通知があり、また本通知に併せて、本調査に関する実施要領及び結果公表に関する道教委の考え方についても併せて示されており、この度、北海道教育委員会より別海町教育委員会に対して、北海道版結果報告書への掲載に係る同意につきまして、照会・回答を求められているものでございます。

なお、本議案の説明につきましては、議案資料により行いたいと思います。

議案資料1ページから20ページまでの、別添1の実施要領につきましては、後ほどお読みいただきたいと思いますので、説明につきましては省略させていただきます、議案資料の21ページより説明をさせていただきますので、資料の21ページをお開き願います。

議案資料21ページには、平成28年度全国学力・学習状況調査の結果公表に関する道教委の考え方が示されております。

記載内容につきましては、道教委の説明責任の項目の3段目から記載となります。

記載内容についてですが、平成26年度の実施要領から、①都道府県、市町村の区別なく、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して、説明責任を果たすことが重要であると明記される。②都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会の同意を得た場合には、当該市町村名又当該市町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした公表ができると記載されているところであります。

本町の本調査に係る公表の経過であります。昨年、10月2日に開催されました、平成27年第10回別海町教育委員会議におきまして、同意すると承認をいただいたところでございます。しかし、昨年度の会議の内容では、教育環境や教育条件に格差がある現状の中で、学力の結果だけを公表するのは如何なものかと言ったご意見や教育環境などの整備の条件を付けて掲載するなど要望を入れて提出した方が良いとのご意見をいただき、結論としては、情報の共有も必要ということ、順位を決める目的ではないということであるため、同意するとして承認いただいたところでございます。また、教職員人事面において解決されていない状況も踏まえて、同意するという回答内容の他に「平成26年度、根室管内教育委員会連合会教育部会からの申入れのとおり、調査結果の公表には教職員の配置における地域格差の是正や免許外教科の解消に取り組むとともに、実態も併せて情報として公表すべきである」との意見付して根室教育局へ回答したものでございます。

本年度におきましては、昨年度の公表状況も踏まえて、危惧されておしま

した序列化等の問題事案においても、引き続き起きなかったこと、他の市町村と情報を共有することにより、本町の教育向上に結びつくものと判断しており、昨年度に引き続き、同意することとしたいと考えております。

議案資料の23ページをお開き願います。

議案書23ページからは北海道版結果報告書に関して、実際に市町村別結果の掲載に関しての別海町掲載（案）を掲載しております。資料の23ページが小学校に関する公表（案）、24ページが中学校に関する公表（案）となっております。

それでは、本年度掲載（案）の内容についてご説明いたします。

はじめに、23ページに関する記述につきましては、市町村別基本フォーマットに基づき、本年4月に実施しました全国学力・学習状況調査結果の実績数値に基づき表示しております。

児童質問紙調査、学校質問紙調査の内容につきましては、本町の取り組みにおいて特色あるデータについて掲載を行っております。

具体的には、23ページの左上の項目になりますが、教科全体の状況ですが、レーザチャート方式で掲載しておりますが、市町村別の平均正答率に関するデーターなど数値化された掲載につきましては、昨年度と同様に行わないこととしております。

次に、23ページの右上及び中段の枠で囲んでおります、児童質問紙調査及び学校質問紙調査に関する情報につきましては、保護者や地域への説明責任を果たすことはもとより、別海型の教育「生き抜く力（別海町生き抜く力向上策定プロジェクト）」と結びつく、別海町の取り組みの特色が表れている項目についての掲載を考えております。また、昨年度の公表項目と同じ項目を掲載することにより、経年比較を行えるように選択しております。

質問紙の質問内容ですが、はじめに23ページの小学校児童質問紙調査に関する部分の項目になります。左上の枠から順に、

- 朝食を毎日食べていますか？
- 自分には、良いところがあると思いますか？
- 家で、自分で計画を立てて勉強していますか？

との結果内容を掲載して、児童の基本的生活習慣に関する部分、自尊意識に関する部分、学習時間等に関する部分についての3項目を選択しております。

また、学校質問用紙調査に関する部分の項目につきましては、23ページ中段の項目となりますが、左側より順に

- 学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底

しましたか？

●家庭学習の取り組みとして、児童に家庭での学習方法等の具体例を挙げながら教えるようにしましたか？

●学校全体や学力傾向の課題について、全教職員で共有していますか？

との結果内容を掲載し、学校として児童に対する学習規律に関する項目、家庭学習に関する項目、共通理解に関する項目の3項目を選択した掲載を行いたいと考えております。

なお、23ページの中段から下段の項目につきましては、さきほど説明を行いました、分析としまして、教科、児童質問紙、学校質問紙に関する分析、一番下の項目となりますが、本町の学力向上策につきましては、資料の内容のと通りの掲載を考えておりますので、説明につきましては省略をさせていただきます。

また、資料24ページの中学校に関する項目につきましては、小学校と同様の考えに基づき、掲載しておりますので、ご覧いただきたく思います。

次に、資料の25ページをお開き願います。資料の25ページでは、本議案の説明内容からは少し反れてしまうかも知れませんが、別海町民への公表及び学校の公表方法について、本議案に関連すると考えまして、議案資料へ添付しまして、本議案の説明にあわせて説明させていただきたいと思います。

大きな項目の、1の町民への公表、2の学校の公表についてですが、いずれも昨年度と同様の公表を考えております。

内容につきましては、1町民への公表では、(1)公表方法は広報「べっかい」への掲載を行うこと、(2)公表の目的では、教育課程の編成及び授業改善、児童生徒の学習状況の改善等に役立てることを目的とする。(3)の公表の時期及び内容では、公表の時期は質問紙等の調査結果を踏まえてから、速やかに公表とするものであります。なお、昨年度の広報誌への掲載は平成28年2月号の広報「べっかい」へ掲載を行っているところでございます。

また、(4)公表に係る表現方法ですが、教科に関する調査結果の公表は、「全道・全国より高い若しくは低い」などの表現を用い、(5)その他留意点としましては、別海町全体、各校、児童生徒一人一人の成果と課題をより具体的に把握するための公表とし、過度の序列や競争心をあおることのないよう公表するとしたものでございます。

続きまして、2学校の公表についてですが、(1)公表の目的として、児童生徒の学習状況の改善に役立てることを目的とする。(2)として、各学校の公表時期及び内容につきましては、公表時期は平成28年10月末ま

学務課主幹

でとする。なお、公表する内容及び様式等につきましては、各学校の判断により行うものとするものであります。

(3)の公表に係る表現方法につきましては、「全道・全国より高い若しくは低い」などの表現を用いた公表とし、(4)のその他留意点としまして、(1)から(3)までに係る以外の公表に係る事項につきましては、全て各学校の判断により行うものとするところでございます。

これらを全て踏まえまして、当教育委員会としまして、本協議案を提案するものでございます。

それでは、議案書1ページをお開きいただき、協議案を朗読いたします。

協議案第1号「平成28年度全国学力・学習状況調査『北海道版結果報告書』への市町村別結果の掲載について」

平成28年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について、下記のとおり協議する。

平成28年10月7日提出

別海町教育委員会 教育長 真 籠 毅

記

平成28年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

北海道教育委員会が作成する平成28年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」に当市町村の結果資料を掲載することについて同意する、とするものでございます。

なお、議案書の2ページには、当該協議結果の道教委への報告書(案)を添付しておりますことを申し添えます。

以上で、協議案第1号の内容説明を終わります。

大塚委員長

ただいま内容説明が終わりましたので、ご質問、ご意見等がありましたらお受けいたします。

町内の小・中学校の状況をもう少し詳しく説明して欲しいのですが。

谷口指導主幹

今年度の教科に関する調査について、小学校、中学校別にご説明したいと思います。

傾向としましては、指導力について、学校教員のよところが非常に大きいということがまず判断できます。

したがって、今、別海町で行われている学校力向上プロジェクトについては、指導力・人間力向上を伴いまして、学校教育の成否に関わる、教師の力を向上させようとしているものです。

その結果、今年度につきましては、小学校の国語A・Bについては、全道・全国より高い、または、同程度。算数A・Bにつきましては、全道・全国より

谷口指導主幹

りも低い、または、同程度というのが今回の結果です。

小学校の算数については、全道・全国よりも低い傾向にあるということが出ております。

したがって、小学校の傾向については、基礎・基本の徹底をさらに高めるための指導、または、問題Bの考えるような指導をさらに深めていかなければならないという傾向があります。

続いて、中学校は、国語A・B、数学A・Bとも全道・全国より高い、または、同程度であるということです。

したがって、中学校については、非常に良い傾向を示しています。これは、小学校からの指導の積み上げ、さらには、質の高い教育活動を行っているという現れだと思います。

さらに、独自事業である生き抜く力アッププロジェクトの先進地域の研修を積んだ先生方の指導力の向上等が非常に影響している傾向があると思われます。

その他に、賞賛に値することは、小・中学校とも問題を全て解こうとする意欲が非常に高いということです。無回答率が、全道・全国より低く、このことから、問題を諦めず最後まで粘り強く解こうとする、児童・生徒が増えているということが傾向としては、読み取ることができます。そのようなことが、普段の積み上げの中で、子ども達に着実に力がついているというふう

に認識します。

大塚委員長

昨年度は、意見書を付して同意の回答をしましたが、そのことについての回答等はありませんか。

教育部長

特に明確な回答は受けておりませんが、人事面などについては、道教委の考え方にもよりますので、日頃から伝えていかなければならないと思っています。危惧されていた序列化等の問題については、問い合わせ等、特にありませんでした。

大塚委員長

その他に何かありませんか。

(「なし」の声あり)

大塚委員長

ご質問等がなければ採決いたします。協議案第1号について原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

大塚委員長

異議がないようですので、協議案第1号について原案のとおり決定することといたします。

－【その他】－

大塚委員長

それでは、日程第5「その他」に入ります。その他で何かございますか。

教育部次長

教育長の報告にもありましたが、先般行われましたパイロットマラソン大

教育部次長

会の結果について、私の方から報告します。

まず、申込者ですが、フルマラソンで1,404名、5キロで502名の方が申し込みされてました。

当日、実際に走られた方については、フルマラソンで1,246名、5キロマラソンで427名の方が、スタートしております。

実際に完走された方ですが、フルマラソンで1,093名、完走率が87.72%になりました。近年になく、完走率が低かったと思っております。

当日、若干気温が上がったのが原因かと思っておりますが、風も影響したものと思っております。

特に、ランナーの話を聞きますと、往路は向かい風で、どちらかという心地よい風だったんですけども、復路については、ほとんど無風状態になって、むしろ逆に熱がこもってしまったというご意見がありました。

例年では91%ぐらいの完走率となっております。

5キロマラソンでは427名のうち424名の方が完走しております。3名の方が途中棄権しております。

それから、救急搬送された方ですけども、今回、3名の方が救急搬送されましたが、内容は脱水症です。脱水症状により3名の方が搬送されましたが、午後5時には、病院を退院され帰宅しております。

以上です。

大塚委員長
教育部長

その他に何かありませんか。

来年、高校野球釧根大会の春季と夏季大会が、本町の球場で開催することとなりました。高野連からの依頼ですが、釧路市民球場の改修に伴って使用できないという中で、本町での開催となりました。

そういう関係もありますが、今月の15日（土）・16日（日）に釧路の各高校と別海高校で交流大会が本町の球場で開かれることになっておりますのでご報告します。

以上です。

大塚委員長

その他に何かありませんか。

（「なし」の声あり）

大塚委員長

以上で本日予定していました案件については全て終了いたしました。

これをもちまして第11回の教育委員会義を閉会いたします。皆さんどうもご苦労様でした。

－【閉 会】－